

「公益信託田島毓堂語彙研究基金」助成金募集要項  
(平成16年度実施要項)

この公益信託は、言語学の中で、語彙研究の発展を図りもって学術の発展に寄与することを目的に設定されたものです。平成16年度助成事業として、下記要項にて受給希望者を募集いたします。

記

1. 応募資格

大学・大学院の教員、又は大学院博士課程（前期・後期）に在籍する学生若しくは運営委員会が認める者（国籍は問わない）で、これまでに本助成金を受給した実績のない方。

2. 応募方法

研究助成金を受けようとする方は、次の各号に掲げる書類を提出して下さい。

(1) 助成応募申請書

(2) 応募資格を証明する書類

○共同申請でも可。

\* 応募に当たって提出いただいた書類は一切返却いたしません。

\* 前年以前と同テーマでの応募は選考対象外となります。

○応募申請書は日本語で書かれたものに限定する。

3. 応募期間

平成16年6月1日から平成16年7月20日（当日消印有効）

4. 助成対象者の決定

助成対象者は、提出書類に基づいて、運営委員会の審査により決定いたします。

5. 助成対象者の発表

平成16年9月に、直接本人宛通知します。

6. 助成金額

個々の助成対象者に対する助成金額は、3件程度総額50万円とし、運営委員会が研究内容等を勘案して金額を決定します。

7. 助成方法

研究助成金は、10月開催の語彙研究会での席上、直接ご本人に贈呈します。

8. 研究成果

研究成果は公表するものとし、語彙研究会機関誌「語彙研究」に投稿していただきます。

9. 申込みおよび問合せ先

〒460-8660 名古屋市中区錦3-21-24

公益信託田島毓堂語彙研究基金

受託者UFJ信託銀行名古屋支店財務相談部 担当 あべ木・河瀬・森

Tel 052(211)3411

以上

「公益信託田島毓堂語彙研究基金」研究活動助成応募申請書

年 月 日

私は、研究活動助成に応募いたします。

|                |              |          |        |
|----------------|--------------|----------|--------|
| (ふりがな)<br>氏名   |              |          |        |
|                | (印)( 年 月 日生) |          |        |
| 所属先            |              |          |        |
| 現住所            | (〒 — )       | 電話( )    | FAX( ) |
| 連絡先            | (〒 — )       | 電話( )    | FAX( ) |
| e-mail<br>アドレス |              |          |        |
| 研究課題           |              |          |        |
| 助成希望<br>金額     | 万円           | 予算<br>総額 | 万円     |

**研究の概要・目的・意義**  
(先行研究との関連についても論じて下さい)

研究方法・計画(課題を明らかにするための方法や研究計画を具体的に。)

研究から期待できる成果

研究の予算

\* 下記は助成希望額に対する明細を記入。 総額 万円(うち助成希望額 万円)

| 旅費(海外、国内別に)     |          | 機 器 類 |        |       |          |
|-----------------|----------|-------|--------|-------|----------|
| 事 項             | 金 額 (千円) | 事 項   | 金 (千円) | 事 項   | 金 額 (千円) |
| 海外<br>運賃<br>滞在費 |          |       |        | 消耗品費  |          |
|                 |          |       |        | 通信運搬費 |          |
|                 |          |       |        | 借料・損料 |          |
| 国内<br>運賃<br>滞在費 |          |       |        | 保険料等  |          |
|                 |          |       |        |       |          |
| 計               |          | 計     |        | 計     |          |

資金計画 (既にこの研究のために獲得した助成金、申請中の助成金を記入してください。)

Blank area for funding plan details.

研究経歴書(現在までの研究テーマについて概略を記入して下さい。また、すでに  
発表した論文があれば、その論文名・掲載誌・発表年月日を記入して下さい。)

「公益信託田島毓堂語彙研究基金」学術賞（田島毓堂賞）募集要項  
（平成16年度実施要項）

この公益信託は、言語学の中で、語彙研究の発展を図りもって学術の発展に寄与することを目的に設定されたものです。平成16年度事業のひとつとして、学術賞（田島毓堂賞）の授賞対象となる業績を下記要項にて募集いたします。

記

1. 応募資格

大学・大学院の教員、又は大学院博士課程（前期・後期）に在籍する学生若しくは運営委員会が認める者（国籍は問わない）で、これまでに本学術賞を受賞した実績のない方。

平成14年1月1日より平成16年5月31日までに語彙研究分野で刊行した、個人（共同も可）としての業績（論文）を有すること。

2. 応募方法

学術賞を受けようとする方は、次の各号に掲げる書類を提出して下さい。

(1) 応募申請書

(2) 応募資格を証明する書類

(3) 研究経歴書

(4) 論文のコピー及びその要旨

○共同論文・共同申請でも可。

○なお、複数の論文の提出を希望する場合は、主たる論文を1つ指定し、その他は副論文としてご提出下さい。尚、主論文、副論文ともに要旨をご提出下さい。

\*応募に当たって提出いただいた書類は一切返却いたしません。

\*前年以前と同テーマでの応募は選考対象外となります。

○応募申請書・論文は日本語で書かれたものに限ります。

3. 応募期間

平成16年6月1日から平成16年7月20日（当日消印有効）

4. 授賞対象者の決定

授賞対象者は、提出書類に基づいて、運営委員会の審査により決定いたします。

5. 授賞対象者の発表

平成16年9月に、直接本人宛通知します。

6. 顕彰金額

授賞対象者に対する顕彰金額は、50万円以内とし、運営委員会が業績等を勘案して決定します。

7. 授与方法

顕彰金の贈呈は、10月開催の語彙研究会での席上、直接ご本人に贈呈します。

8. 申込みおよび問合せ先

〒460-8660 名古屋市中区錦3-21-24

公益信託田島毓堂語彙研究基金

受託者UFJ信託銀行名古屋支店財務相談部 担当 あべ木・河瀬・森

Te l 052 (211) 3411

以上

「公益信託田島毓堂語彙研究基金」 田島毓堂賞応募申請書

平成 年 月 日

私は、田島毓堂賞に応募し、所定の用紙に業績を添えて申し込みます。

(ふりがな)  
氏名

(印) ( 年 月 日生)

所属先

現住所

(〒 — )

電話( )  
FAX( )

連絡先

(〒 — )

電話( )  
FAX( )

e-mail  
アドレス

応募者略歴

年 月

事 項

| 年 月 | 事 項 |
|-----|-----|
|     |     |

研究経歴

(これまでの研究テーマなどについて簡単に)

提出業績

(当てはまるものに○を)

主論文1点 主論文1点と副論文1点 主論文1点と副論文2点

|                                       |      |       |       |
|---------------------------------------|------|-------|-------|
| 提出業績が論文の場合<br>(副論文も提出できるが、なくてもかまわない。) | 主論文  | タイトル  |       |
|                                       |      | 誌名・巻号 |       |
|                                       |      | 掲載ページ | 出版年月日 |
|                                       | 副論文1 | タイトル  |       |
|                                       |      | 誌名・巻号 |       |
|                                       |      | 掲載ページ | 出版年月日 |
|                                       | 副論文2 | タイトル  |       |
|                                       |      | 誌名・巻号 |       |
|                                       |      | 掲載ページ | 出版年月日 |



主論文の要旨と、学術的に独創的な点(1500字以内で枠内に)

副論文の要旨(800字以内で枠内に)